

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-1-3  
ソフト系IT産業の振興

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 産業振興課長 松浦 士登 電話番号 0852-22-5291

事務事業の名称	しまねIT産業振興事業		
目的	(1) 対象	県内のソフト系IT企業	
	(2) 意図	技術力・開発力の向上等による事業拡大及び技術人材育成・確保	
事業概要	県内のIT産業が持続的に発展することを目指し、人材育成・確保、技術力・商品力の強化、情報発信・販路開拓等の支援を通じて各企業が国内外で売れる商品・サービスを構築していくことを促進する。 1. 人材育成・確保支援 (県内企業のIT技術者を対象とした実践的な技術習得講座の開催等、即戦力となるIT人材の確保に向けた支援等) 2. 技術力・商品力の強化支援 (自社固有製品等の開発、異業種連携による新サービス創出に挑戦する企業への支援等) 3. 情報発信・販路開拓支援 (中小企業経営者を対象としたIT利活用に向けた講演等の普及啓発、独自製品を持つ県内企業の販路開拓等への支援等)		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	ソフト系IT産業の売上高	目標値	190.0	240.0	254.0	267.0	280.0	億円
	取組目標値								
	式・定義	島根県情報産業協会「ソフト系IT業界の実態調査」におけるソフト系IT産業の売上高(前年度実績値)	実績値	228.0	230.4	230.7			
			達成率	120.0	96.0	90.9	-	-	%
2	指標名	ソフト系IT企業の従事者数	目標値	1,260.0	1,324.0	1,400.0	1,475.0	1,550.0	人
	取組目標値								
	式・定義	島根県情報産業協会「ソフト系IT業界の実態調査」におけるソフト系IT産業の従業員数(前年度実績値)	実績値	1,284.0	1,381.0	1,441.0			
			達成率	102.0	104.4	103.0	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	291,441	338,099
うち一般財源(千円)	272,245	276,893

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

○直近3年間で売上額と雇用人数とも順調に伸びている。  
 ・売上額 平成26年度：227.1億円、平成27年度：228.0億円、平成28年度：230.4億円  
 ・県内従業員数 平成26年度：1,249人、平成27年度：1,284人、平成28年度：1,381人  
 (出典：島根県情報産業協会「ソフト系IT業界の実態調査」)  
 ○近年のIT産業界で成長が著しい技術領域、事業分野として、AI・IoTを活用したビジネスと言われている。調査会社の報告によれば、AI等を活用した分析サービスや、環境を構築するためのコンサルティング、SI等を含めて、市場規模が2015年度は1,500億円であったのが、2030年度には2兆1,200億円まで急速に拡大するとの予測もある。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

○企業エンジニア等のスキルアップのための講習会について、ITOC・県での開催機会を増やしたことで受講者数が増。  
 ・平成28年618人→平成29年817人  
 ○小中高校生を対象にしたRuby教室、先端教室等の開催機会を増したことで参加者数が増。  
 ・平成28年223人→平成29年401人  
 ○ITOCの専門スタッフ、研究員による相談対応機会を増やす等による「製品・サービス開発等の助成金制度の活用件数」の増  
 ・相談件数：平成28年286件→平成29年324件  
 ・助成件数：平成28年21件→平成29年23件  
 上記などの人材育成の実績やサービス・製品開発支援の対象件数の増などによって、売上額や従業員数が増加していると評価。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」  
 ・この数年間、従業員数は毎年順調に増えているが、売上額は微増に留まっている。  
 ・島根県内のIT企業は、成長分野であるAI・IoTを活用したビジネスに取り組む機会が少ない。  
 ②困っている状況が発生している「原因」  
 ・県内IT企業の経営者は、AI・IoTを活かした事業に関する知識が乏しい。  
 ・県内には、データの収集→活用→分析→マーケティング等への活用→ビジネス価値の創出までの幅広い知識・技術を有した人材が少ない。  
 ・県内IT企業は、AI・IoTで解決可能な課題や、課題を有する他産業への理解が乏しい。  
 ③原因を解消するための「課題」  
 ・県内IT企業の経営者に、AI・IoTを活かした事業のモデル(手順)への理解を促す必要がある。  
 ・データサイエンティストと呼ばれるAI・IoTビジネスのスペシャリストを育成する必要がある。  
 ・県内IT企業が、県内の他産業の状況を理解する機会が必要である。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・経営者向けに啓発機会としてのセミナーを開催し、県内企業がAI・IoTを活かしたビジネスに取り組む機運を醸成する。  
 ・他機関(研究機関、コミュニティ)とも連携して、高度な技術講習会を開催し、データサイエンティストを育成する。  
 ・IT企業が他産業の状況、課題を理解し、且つ関係を構築できる異業種交流会を開催する。  
 ・異業種から現場課題に関する相談を受け、県内IT企業に紹介する財団・県の窓口機能を強化する。  
 ・しまねソフト研究開発センターが取り組む先駆的研究(機械学習・AI、IoT)の成果を県内企業に技術移転し、事業化を支援する。

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	しまねIT産業振興事業
---------	-------------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	Uターン支援により確保した技術者数(4年間の累計)	目標値		20.0	40.0	60.0	80.0	人
			取組目標値						
	式・定義	県のIT技術者のUターンに特化した人材マッチング事業により確保した技術者の数	実績値	25.0	21.0	16.0			%
			達成率	—	105.0	40.0	—	—	
4	指標名	IT人材育成事業受講者数(4年間の累計)	目標値		360.0	720.0	1,080.0	1,440.0	人
			取組目標値						
	式・定義	(一社)島根県情報産業協会及び(公財)しまね産業振興財団が実施する技術講座受講者数等	実績値	170.0	789.0	1,606.0			%
			達成率	—	219.2	223.1	—	—	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	